令和6年度 日本大学スポーツ科学部 個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 教授 氏名: 山本 大

研究課題名	サッカー指導者養成講習会の受講生の実態調査および指導行動の分析
研究目的及び 研究概要	【目的】 本研究は、「実践に役立つ優れたコーチングを科学的に解明する」ことを目的とし、JFA指導者養成講習会の受講生を対象に、指導者の言葉がけを構造的に分析する。アンケートやインタビューを通じて受講生の潜在的なニーズを明らかにし、指導実践の動画分析を加えることで多角的に検証する。さらに、講習会講師の評価を含めたデータを基に、AIと実践知を活用してグッドコーチングの指標を作成し、新たなコーチング理論モデルを構築する。 【方法】 受講生に対し、受講前後のアンケート調査と指導行動の録画・観察を実施する。アンケートでは属性や指導歴などを収集し、指導行動はCBORSを基に記録システムを作成し分析する。録画データはテキスト化し、映像を確認しながら研究従事者が内容を集計する。
研究実績の概要研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	【研究の進捗状況】 令和6年度の講習会に参加し、以下の録画データを収集した。なお、本研究のデータ収集は令和6年度の科研費の助成を受けて実施した。加えてこれらの録画データとは別に、大学コースの指導実践の録画データを58本収集した。 コース名 動画データ 実施 I コース 66 終了 IIコース 62 終了 IIコース 70 終了 IVコース 67 終了 Vコース 68 終了 Vコース 32 開講中(~3/15) 合計 365 大学コース 58 終了 総合計 423
	【得られた成果】 上記録画データの取得 データ内の音声をテキスト化 【今後の課題】 テキスト化したデータを分析するため、個人研究費から人件費を計上し、アルバイト職員を雇用 する予定であった。しかし、適任者の確保が難しく、さらに雇用した職員のスケジュール調整が困 難だったため、当初の計画どおりにデータ整理を進められていない。この点は今後の課題として検 討し、適切な人材の確保や作業の進め方の改善を図る必要がある。